

《長崎から Web 参加しよう!》第 21 回

障害児を普通学校へ・全国連絡会 全国交流集会(広島)

「障害児を普通学校へ、ってどういうこと？」
 「支援学級在籍のあの子の進学先は？」
 「地域で生きるって？」 興味のある人もそうでない人も、まずは知ることから初めてみませんか。広島や全国の仲間の思いや実践を一緒に学びましょう。

1日目 全体会 9月17日(日)13:30~17:00
[要約筆記・手話通訳あり]

みんな行けるよ 行こうや地域の学校に



1. 開会行事(主催者挨拶・来賓挨拶・基調報告)
2. 講演
 「学校教育に何を求める?~イヤな事にイヤと言える力~」
 講師 藤山 節子さん(廿日市市ともにあゆむ会 代表)

42歳になる子どもの世子(せいこ)が生まれた時、医師から、「残念ですが、歩けないかも、話せないかも。5歳まで生きられない。」と言われて、抱きしめて泣きました。
 保育園に入った1日目に、将来の彼女の姿が予想できる出来事がありました。その時、イヤな事があつたら泣ける子にしたいと強く思いました。将来的に出会うであろう差別と闘える人に育てたいと覚悟を決めました。その力を育てる場として、保育園、学校があると考えました。小学校入学時、彼女は、「みんなと一緒に良い。」と言い張りました。その願いをかなえるために、先生と言葉を重ねました。9年間普通学級で過ごし、普通高校に行きたいと言う願いをかなえるために動きました。定員割れで合格、ルンルンの高校生活。大学に行きたいと言う願いをかなえるために動き、8年間広島県立大学に聴講生として通いました。
 今、彼女は週に4日、一人で船、電車、バスで通い、一人で買い物をする。お母さんと一緒に良いと言うので一緒に暮らしています。

3. パネルディスカッション
 「共に生きるって?~子どもの出会いから始まるもの~」

実行委員長あいさつ
 新型コロナがインフルエンザと同じあつかいになり、少しは過ごしやすくなったかと思いますが、油断はできません。そんな中、広島で全国交流集会を行います。テーマは『みんな行けるよ 行こうや 地域の学校に』です。今は特別支援学校の情報が多く、地域の学校に行けることを知らない親たちが増えてきていると聞きました。
 あらためて、地域の学校に行けることを知ってもらい、地域で障害のある子とない子がいっしょに育ち、学び、遊ぶ。おとなになっても付き合える関係をつくってほしいと思います。そういうきっかけをつくるための集会にしたいと思います。広島で、みなさんに会えるのを待っています。参加をよろしく願います。
 矢賀 道子

高松 豊さん(広島市)
 1990年、広島で初めて点字受験を実現して高校進学した視覚障害者
 広島の高校進学闘争の起点となる

下手佐智代さん(東広島市)
 普通学級に生き生きと通う小3でダウン症のある子どもの保護者

コーディネーター
 一木玲子さん
 東洋大学人間科学総合研究所
 客員研究員

藤山節子さん(廿日市市)
 保護者
 本集会全体会講演者

和田 明さん(三原市)
 元教員
 元日教組障害児教育部長

主催 障害児を普通学校へ・全国連絡会
 第21回 障害児を普通学校へ・全国連絡会 全国交流集会広島実行委員会
 後援 日本教職員組合、広島県教職員組合、広島県高等学校教職員組合

日時 2023年9月17日(日) 13:00~18:00 部分参加もOKです。

Web会場 長崎県教育文化会館(長崎市筑後町2-1(2階)) 095-822-5195

- 内容 (1)開会行事 13:00~13:30
 (2)全体会 Web 視聴 13:30~17:00
 演題 「学校教育に何を求める?~イヤな事にイヤと言える力~」 講師 藤山節子さん(廿日市市ともにあゆむ会 代表)
 パネルディスカッション 「共に生きるって?~子どもの出会いから始まるもの~」
 (3)感想交流 17:10~18:00
 全体会の感想を交流したり、長崎の現状やこれからについて話しあったりしましょう。

参加費 Web会場参加の場合、現地実行委員会への支払いは1人1,000円ですが、

障害児教育部が1,000円補助しますので、**無料**です。(お茶とお菓子付き)

問合せ先 障害児教育部・山下 (メール) inclu2023nagasaki@yahoo.co.jp または、お知り合いの障害児教育部員へ
 ・お名前、(大人、高校生以下、介助者の区分)、連絡先(電話かメール)

締め切り 9月15日(金) *当日参加もOKですが、お茶等の準備の為、事前に申し込みがあると助かります。